

2017年度 センター試験英語 解答・解説および対策**○センター試験講評**

概論：総語数は昨年度と若干増加したが約 4300 語で、全体としてはあまり変わっていない。全体としては昨年度同様に多めになっており、最近の英語読解問題の長文化を反映したものとなっている。マーク数は昨年度と同数の 55 である。昨年度は E メール情報を読み取る形式の問題だった第 5 問の内容が物語を読み取る形式の問題になったが、今年度は昨年度に引き続き物語を読み取る形式の問題となっていて、全体に大きな変更点はない。ただし、第 5 問に関しては 2014 年度(イラスト選択の問題)、2015 年度(E メール情報の読み取る問題)、昨年度の 2016 年と内容が変わっているので、センター対策を行う際には複数年度の問題(可能ならば追試も)に触れておくことが重要となるだろう。難易的にはあまり変化は見られない。英文自体の難易度は例年並みなので、普段からセンター模試または過去問等で時間配分を考えつつ解く練習を積んでいけば、十分対処のできる問題となっている。

第 1 問

今年度(平成 29 年度)

A(発音問題):3 問 B(アクセント問題):4 問 [配点 14]

第 2 問

今年度(平成 29 年度)

A(文法・語法):10 問 B(対話文):3 問 C(整序英作文):3 問[マーク数 6]
[配点 44]

第 3 問

今年度(平成 29 年度)

A(対話文内で適切な表現を選択):2 問 B(不要な文の選択):1 問[マーク数 3] C(意見の要約):1 問[マーク数 3] [配点 41]

第 4 問

今年度(平成 29 年度)

A(図表[表]と英文の読み取り):3 問[マーク数 4] B(ウェブ情報の読み取り):3 問[マーク数 3] [配点 35]

第 5 問

今年度(平成 29 年度)

(イラスト選択、英文選択):5 問[マーク数 5] [配点 30]

昨年度に引き続き物語の内容を読み取る問題。

第6問

今年度(平成29年度)

A(長文読解): 5問[マーク数5] B(Aの長文の各パラグラフの要約を選択): 1問[マーク数4] [配点36]

○対策、解説・解答

限られたスペースなので、今回は特に新高2、3年生が、比較的短期に対策を立てられる第1問、第2問、第3問についての対策アドバイス、解答・解説を詳しく行う。(第4、5、6問については選択肢の和訳等にとどめる。)

第1問

【対策アドバイス】

発音、アクセントの知識を問う問題。難易度は例年通りと言えるが、アクセント位置がずれてカタカナ語化した英単語はセンター試験では毎年のように出題されるので、簡単だと思っているカタカナ語でも、間違っ^てアクセント位置を覚えてはいないかのチェックをしてくることが必要。それ以外は普段の授業で何度か解説・演習をした発音・アクセントのルールを踏まえれば、かなりの正答率が見込める。したがって、この範囲が苦手な生徒は、出題された単語の発音・アクセントの確認は当然のことだが、基本的な発音、アクセントのルール(この範囲の学習を希望する場合は担当講師もしくは大学受験科の講師に相談してください。)を早めに学習しておくことが重要となる。

【解答・解説】

A 次の問い(問1～3)において、下線部の発音がほかの三つと異なるものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問1 ① appear ② fear ③ gear ④ swear

<①「現れる」、②、③の“ear”はすべて[iəɹ]。④「誓う」の“ear”は[eəɹ]。>

問2 ① attach ② channel ③ chorus ④ merchant

<①「取りつける、付け加える」、②「海峡」、④「商人」の“ch”は[tʃ](チャ、チュ、チョの音)、③「コーラス」“ch”は[k]。>

問3 ① assert ② association ③ impress ④ possess

<①「断言する」、②「協会、交際、連想」、③とも[s]。④は[z]。>

B 次の問い(問1～4)において、与えられた語と第一アクセント(第一強勢)の位置がほかの三つと異なるものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問1

- ① marine ② rapid ③ severe ④ unique

<①civil(市民の、礼儀正しい) / ②purchase(購入、購入する) / ③unite(～を一体にする、～を団結させる、団結する) / ④valid(有効な)>

問2

- ① enormous ② evidence ③ satellite ④ typical

<①「巨大な」は【2つ前ルールのつづり(□のつづりの2つ前の母音にアクセント)】の例外語。他の頻出の例外語は mischievous(いたずらな)と disastrous(悲惨な、損害の大きい) ※例に当てはまる語の一部; courageous(勇気のある), delicious(おいしい), obvious(明らかな), infamous(悪名高い) / ②「証拠」 / ③「衛星」⇒【2つ前ルールのつづり(□のつづりの2つ前の母音にアクセント)】 ■-□-ate / ite ※例に当てはまる語の一部; communicate(〔意思などを〕伝える), concentrate(集中する), operate(操作する) / ④⇒【直前ルールのつづり(□のつづりの1つ前の母音にアクセント)】 ■-ic / ics / ical >

問3

- ① assembly ② correspond ③ distinguish ④ expensive

<①「集まり、会議」 / ②「一致する、相当する、文通する」 / ③「区別をする」 / ④⇒【直前ルールのつづり(□のつづりの1つ前の母音にアクセント)】 ■-sive ※例に当てはまる語の一部; expensive, impressive(印象的な)>

問4

- ① definitely ② democratic ③ independence ④ resolution

<①「明確に」⇒【2つ前ルールのつづり + 無視できるつづり】 ■-□-ate / ite ※無視できるつづり: -ing, -ed, -er, -or, -ment, -ly, -ful, -ist, -ism, -ness, -less, -al など。外しても元になる単語が残ることが前提 / ②「民主主義の」⇒【直前ルールのつづり】 ■-ic / ics / ical / ③「独立、自立」 / ④「決意、決議」⇒【直前ルールのつづり】 ■-cian / tion / gion / sion / stion 例: politician, religion >

第2問

【対策アドバイス】

A、B、C の三部構成で、それぞれ文法・語法、整序英作文、対話文の知識と力を試す問題になっている。

新高3生[新高2生]で今年のセンター試験にチャレンジしてこの第2問に苦戦した生徒は、夏期講習会に入るまでに、ぜひとも英単語はターゲットであれば1900まで〔^(新高2生)見出し語で800前後まで〕の暗記を終了してもらいたい(これでもかなり遅いペース)。また、授業で出来なかった英文法の範囲などに関しては自分から積極的に、①持っている問題集で該当範囲を解いてみたり、②同じプリントを利用して復習後に少し時間をおいてから再テストをしたり、③よく間違えるものに関しては英文を丸ごとノートなどに書き出して暗記した上で、講師に再テストを求めるなど、積極的、攻撃的な学習を開始しよう。

【解答・解説】

A 次の問い(問1～10)の ～ に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。ただし、 ～ については、(A)と(B)に入れるのに最も適当な組合せを選べ。

問1 Today, in science class, I learned that salt water doesn't freeze 0°C.

- ① at ② in ③ on ④ with

<【前置詞】「今日理科の授業で、私は塩水が摂氏零度では凍らないことを学んだ。」>

問2 Many experts think that we need to create more job opportunities for .

- ① a young ② the young ③ young ④ younger

<【冠詞】the + 形容詞 = 形容詞な人々 / the young = young people 「多くの専門家たちは、若者たちのために私たちがより多くの仕事の機会を創り出す必要があると考えている。」>

問3 The leaves in my neighborhood have recently yellow.

- ① come ② developed ③ led ④ turned

<【SVCの構文】S turn(s) C: SはCに変化する「私の家の近所の葉が最近黄色くなった。」>

問4 I think eating at home is often **11** more economical than eating at a restaurant.

- ① far ② high ③ too ④ very

<【比較級の強調】 far + 比較級: はるかに「ずっと」比較級 「私は、家で食事をするほうが、レストランで食事をするよりもしばしば、ずっと経済的だと思う。」>

問5 **12** as the leading actor in the film, Ramesh soon became a star.

- ① Choosing ② Having been chosen
③ Having chosen ④ To choose

<【分詞構文 + 受動態】 “Having been chosen as ...” = “As [After] he [=Ramesh] had been chosen as ...” 「その映画で主役選ばれたので「選ばれた後」、ラメシュはまもなくスターになった。」>

問6 Please give me **13** information you get as soon as possible.

- ① as if ② even if ③ whatever ④ whenever

<【関係形容詞】 whatever 名詞 SV: SがVするすべての名詞、SがVするたとえどんな名詞(でも) 「手に入ったどんな情報でもできる限り早く私によこして下さい。」>

問7 The typhoon suddenly became weaker, **14** was good news for the village.

- ① it ② that ③ what ④ which

<【関係代名詞(非制限用法)】 「台風は突然弱まったが、それは村にとってはよい知らせだった。」>

問8 He (A) his umbrella (B) in the door by accident when he boarded the rush hour train. **15**

- ① A: got B: caught ② A: got B: to catch
③ A: made B: caught ④ A: made B: to catch

<【SVOC(使役動詞)】 get O 過去分詞: Oを過去分詞される、してもらう ※get, have は「被害」を表すことができる。 「彼はラッシュ時の電車に乗った時に、偶然ドアに傘をはさまれた。」>

問9 (A) in this class is as kind (B) Abbie. She always helps people who are in trouble. **16**

- ① A: Anybody B: as ② A: Anybody B: than
③ A: Nobody B: as ④ A: Nobody B: than

<【比較(原級)】 「このクラスでアビーほど親切な人はいない。彼女はいつも困っている人たちを助ける。」>

問10 Angelina (A) me whether I (B) enjoyed the festival last Saturday. **17**

- ① A: asked B: had ② A: asked B: have
③ A: said to B: had ④ A: said to B: have

<【語法 + 時制(大過去)】 「アンジェリーナは私に、先週のフェスティバルを私が楽しんだかどうかを尋ねた。」>

>

B 次の問い(問1～3)において、それぞれ下の①～⑥の語句を並べかえて空所を補い、最も適当な文を完成させよ。解答は **18** ～ **23** に入れるものの番号のみを答えよ。[正解の選択肢の番号と整序英作文側の訳のみ]

問1

Keita: You have so many things in your room.

Cindy: I know. Actually, [I] [find] [it] [difficult] [to] [keep] it neat and clean.

18 ② **19** ⑥

<【it 構文(形式目的語) + SVOC の構文】 find it C to ~: ~することをCと思う「分かっているわ。実際のところ、きちんとしてきれいにしておくのが難しいのよ。」>

問2

Ted: Professor Jones suggested that I rewrite this essay.

Jack: Oh, well, [it] [may] [cost] [you] [a few] [hours], but I'm sure you'll get a higher grade on it.

20 ⑤ **21** ①

<【頻出動詞】 S cost O お金・犠牲など: S(をするのに)Oに お金・犠牲がかかる(要する)「うーん、まあ、それをするのに2、3時間(の手間)がかかるかもしれないけど、きつともっといい成績が取れるよ。」>

問3

Rita: Daniel and I have to go home now.

Father: Oh, [how come] [you] [are] [leaving] [earlier] [than] usual? I thought you were going to stay for dinner.

22 ⑥ **23** ②

<【疑問文 + 慣用表現】 How come S V ...?: どうしてSV...なのか? 「ああ、どうしていつもより早く帰るんだい? 夕食を食べるためにいるんだと思ってたよ。」>

C 次の問い(問1～3)の会話の **24** ～ **26** において、二人目の発言が最も適当な応答となるように文を作るには、それぞれ(A)と(B)をどのように選んで組み合わせればよいか、下の①～⑧のうちから一つずつ選べ。[正解の選択肢の番号と訳のみ]

問1

労働者: この仕事全部を同時にはできないよ。どれを最初にするべきだと君は思う?

同僚: そうだね、月例報告はとても重要だから、(A)5時までに (B)忘れずに (A)それを出さ (A)なければならないよ。)

[英語の順](B)you have to remember (A) to turn it in (A)by five o'clock.

24 ⑤ <【頻出動詞語法】 remember to ~: 忘れずに~する>

問2

テイラー: またクリケット(の試合)を見てるのかい? どうしていつもクリケットの試合を見るのかわからないよ。

アデル: クリケットが大好きなんだ。それにこれはすごい試合なんだよ。
(A)もしあなたがルールをわかっていたら(B)本当に面白い(A)でしょう。

[英語の順](A)If you knew the rules, (A)it would be
(B)really interesting.

25 ② <【条件文(仮定法過去)】 If S1 + 仮定法過去, S2 would ...: もしS1が 仮定法過去 だったら, S2は...だろう>

問3

フリッツ: ナオキについての噂を耳にしたって言う生徒たちもいるよ。

ソフィア: 私も聞いたけど、嘘よ。(A)どうしたら、(B)+(B)それが広まるのを防げるかしら。

[英語の順] I wonder (A)how we can (B)prevent it
(B)from spreading.

26 ⑦ <【間接疑問文 + 頻出動詞】 prevent O from ~ing: Oが~するのを防ぐ>

第3問

【対策アドバイス】

構成A、B、Cの三部で昨年と同じ。2015年度に「対話文中の下線部が引かれた語句の意味を推測する問題」だったAが、2016年度に「対話文中の空所に入る英文を推測する問題」になったのだが、それは今年度も変化なくそのままとなっている。Bは「不要な文の選択」の問題になっている。ターゲット1900レベルの英単語集で学習をしていたとすれば、理解できないような語句はほとんどない。したがってこの問題を解けないのは語彙力に原因があるのではなく解き方の問題となる。難関大ではこの設問の発展形が頻繁に出題されるので、語い力のみを利用するのではない解き方もセンターレベルで慣れておくことが重要。

【解答・解説】

下記の【解説】では、設問Aの英語問題文を和訳した上で下線部を空所補充にしてあるので、空欄補充問題のつもりで解いても正解を出せることを確認しよう。Bに関しては、正解を導き出すのに必要な部分と正解の選択肢の和訳を、Cは正解の選択肢の和訳とその理由のみを掲載する。

A 次の問い(問1・問2)の会話の 27・28に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問1

生徒: あとで私の演説原稿をチェックする時間がありますか。

教師: いや、今日は時間がないと思いますね。今日の午後は何件か人と会う約束があるんです。

生徒: そうですか。うーん.... 27

教師: そうですね。君が来る前に私が読めるように、Eメールでそれを私のところに送ってください。

27 ②

① Are you sure you can skip the appointments? 「人と会う約束を本当にやめられるんですか。」⇒前の文で人と会う約束をキャンセルするような話は出ていないので×

② **Could I come to your office after school tomorrow?** 「明日の放課後に先生のオフィスに伺ってもいいですか。」

③ Shall I make an appointment with you for today? 「今日先生と会う予定を組みましょうか。」⇒「今日は時間がない」と言っているので×

④ Would you kindly give me the draft to look at? 「見るための原稿を私に(親切にも)いただけませんか。」⇒原稿を渡すのは生徒なので×

問2

ケン: 今週末にメモリアルパークに行くなんてどう?

イーサン: ここからどれくらい(の距離)のどこなの?

ケン: ええと、急行列車で約2時間かかるよ。

イーサン: うーん、ちょっと遠いね。そこに行くのにいくらかかるの?

ケン: だいたい6千円。だけど本当にきれいだって聞いたよ。

イーサン: 知ってるよ、だけど **28**。どこか他に行くところを見つけようよ。

28 ③

- ① I don't feel like going out 「外出する気分じゃないよ。」⇒直後に「どこか他に行くところを見つけようよ。」という発言をしているので×
- ② it helps us to get there 「そこに僕らが行くのに役立つよ。」⇒直前までに「役立つ」理由が何も書かれていないので×
- ③ that's much too expensive 「あまりに(費用が)高すぎるよ。」
- ④ we can't miss this chance 「この機会を逃せないよ。」⇒次の文で「どこか他に行くところを見つけようよ。」と言っているので×

B 次の問い(問1~3)のパラグラフ(段落)には、まとまりをよくするために取り除いた方がよい文が一つある。取り除く文として最も適当なものを、それぞれ下線部①~④のうちから一つずつ選べ。

解法

- ① (全体またはパラグラフ単位での)主張・主題を把握
- ② ①の主張・主題に矛盾していたり、無関係な文を**取り除く文の候補**とする。
- ③ **取り除く文の候補**を抜かした前後の文が主題・主張に矛盾せずつながるようなら正解。

問1 **29** ③

Wearing proper shoes can reduce problems with your feet. <適切な靴を着用することで足の問題を軽減することができる。> Here are some important points to think about in order to choose the right shoes. <ここに正しい靴を選ぶために考えるべきいくつかの重要なポイントがある。> ① Make sure the insole, the inner bottom

part of the shoe, is made of material which absorbs the impact on your foot when walking. <靴の内側の底部分である、中敷きが、歩いているときにあなたの足にかかる衝撃を

吸収するような素材でできていることを確かめること。> ② The upper part of the shoe

should be made of breathable material such as leather or cloth. ③

Some brand-name shoes are famous because of their fashionable designs. <有名ブランドの靴の中には、そのファッショナブルなデザインのおかげで有名なものもある。⇒靴選び

のアドバイスではないので×> ④ When you try on shoes, pay attention not only

to their length but also to their depth and width. Wearing the right shoes lets you enjoy walking with fewer problems.

問2 30 ②

In Japan, there are several ways of transporting goods. <日本では、品物を運ぶいくつかの方法がある。> Each method has its own advantages and

disadvantages. <それぞれの方法にはそれ自体の利点や欠点がある。> ① Transportation

by air, though it can be expensive, is suitable for carrying goods which require speedy delivery. <空輸は、費用が高くつくこともあるが、素早い配達が要求されるような品物を

運ぶのには適している。> ② Buses can carry many passengers, and they are

convenient for daily life. <バスは多くの乗客を運ぶことができ、日常生活にとっては便利だ。⇒乗客は品物ではないので×> ③ Ships, on the other hand, can carry large quantities

at low cost, but it takes much time for them to reach their destinations. Trains can stop only at stations, but their arrival times

can easily be estimated. ④ Although trucks cannot carry much compared with trains, they are useful for carrying things from door to

door. Such merits and demerits of each method of transportation should be taken into consideration, so the best way can be chosen,

depending on the needs.

問3 31 ③

If you forget something you once learned, go back to the place where you originally learned it. <いちど学んだ何かを忘れたら、それをもともと学んだ場所に戻ってみよう。> Experimental studies support this idea. <実験研究はこの考え(方)を支持している。> For instance, two groups of divers went into the sea. <たとえば、2つのグループのダイバーが海に潜った。> ① After listening to a list of words underwater, they came back on land and wrote down as many words as they could remember. <水中でリスト上の単語を聞いた後、彼らは陸上に戻ってきて、思い出せる限りの単語を書き記した。> ② A day later, one group sat on land, while the other went back into the sea. <1日経って、一つのグループは陸上において、もう一方のグループは海に戻った。> ③ Researchers carefully chose the list of words, and the divers selected the diving site. <研究者たちは、注意深く単語リストを選び、ダイバーたちはダイビングをする場所を選んだ。> ④ Each group was asked to recall and write the words they had learned the day before. It turned out that the divers in the sea recalled words better than the divers on land. Thus, a person's ability to remember seems to be better if learning and recalling are done in the same environment.

C 次の会話は、「市の発展」をテーマとして、ある町で行われた住民による話し合いでのやりとりの一部である。[32]～[34]に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

Alice: The mayor has asked me to lead this meeting to discuss ways to develop our town. <市長は私に、私たちの町を発展させるための方法を議論するための会議を主催するように頼んだの。> Tom, how about beginning with you? <あなたからスタートするっていうのはどう、トム？>

Tom: Sure. If a new factory is built here, more people will move to our town. <もし新しい向上がここに建設されれば、より多くの人たちが僕たちの町に引っ越してくるだろう。> This would help local shops and restaurants because there would be more customers. <このことで、顧客がもっと増えるだろうから、地元の店やレストランが助かることになるよ。> Also, some of our residents working in the next town could find jobs here. <それに、隣町で仕事をしている僕たちの町の住民で、ここで仕事を見つけることができる人もいるだろう。>

Many people have complained about their long drive back and forth to work. Working closer to home would improve their family life by giving them more time to spend together.

Alice: Tom, are you saying that 32?^③

③ people in our town would benefit from a new workplace here <私たちの町に住んでいる人たちは新しい職場から恩恵を受けるだろう>

Tom: Yes, that's correct. <その通り。>

Carol: Well, I think it would be better to build a shopping mall. <そうですね、ショッピングモールを建設するほうがいいと思うわ。> It would be good for both customers and shop owners. <お客と店のオーナーの両社にとってよいだろうし。> When the new housing complex is completed in the northeastern part of town, people living there would be pleased with a nearby mall to shop at. <町の北部に新しい住居棟が完成したら、そこに住む人たちは買い物をするための近くのモールに喜ぶでしょうね。> Lots of my fellow merchants have been wishing they could move to a new place. Such a mall would be a benefit to shop owners because more people would visit their shops.

Rick: I agree. A mall would also be useful for people in other parts of town because they could do all of their shopping at one place. <(ショッピング)モールは、一か所で全ての買い物をする事ができるから、町の他の部分にいる人たちにとっても便利になるだろうね。> It would save everyone time, and families would enjoy their lives more. <それによってみんなの時間が節約できて、家族は自分たちの生活をより楽しめるんだ。 ※S save O₁ O₂ : SはO₁からO₂を省く、SのおかげでO₁はO₂をしなくて済む[節約できる]> And the highway exit is in the same area. So, not only would people in our town shop at a mall built there but people from other towns would also have easy access to it. <だから、僕たちの町の人だけがそこに建設されるモールで買い物をするのではなく、他の町から来た人たちもそこに簡単に行けることになるんだよ。> That would increase our local business' profits. <それによって町のビジネスの利益が増加するだろう。>

Carol: Right. It would make family life here much better as well as bring more customers to our town. <そうならば、私たちの町により多くのお客を呼び込むだけでなく、ここでの家族の生活もずっとよくなるでしょうね。>

Alice: So, you both feel that a mall would help 33. ④

④ improve our town's economy and convenience <私たちの町の経済と利便性を向上させる>

Leslie: I don't think building a mall or opening a business is the only way to help our economy grow. <モールを建てたり、ビジネスを開始したりするのだけが、私たちの(地元の)経済を成長させる方法だとは思わないよ。> We should find ways of using the beauty of nature, which our town is already famous for. <私たちは自然の美しさを利用する方法を見つけるべきだよ。だって、それで私たちの町は有名なんだから。> It makes our town a nice place for families to live in. <それ[自然の美しさ]が私たちの町を家族が住むのに素敵な町にしているんだよ。>

Ellen: I think so too. We should try to develop without changing the things that families living here and visitors enjoy. <私たちはここに生活している家族たちや訪れる人たちが楽しむものを変えることなしに開発をするようにすべきよ。> Using the beautiful scenery of our town in more creative ways would encourage people to come and live here. <私たちの町の美しい景色をより創造的なやり方で利用すれば、人々がここに住みに来る気にされるでしょうね。> That would bring more money into our town.

Leslie: I completely agree. In the long run, our town will be hurt if its natural surroundings are not preserved. <長い目で見れば、もしその自然環境が保護されなければ、私たちの町は傷つくことになるだろう。>

Alice: So, Leslie and Ellen are talking about the importance of maintaining the natural feature of our town. Well, from our discussion so far, it seems everyone thinks, when developing our town, we should 34. Let's see if there are any other points we need to take into account. <他にも私たちが考慮する必要のある点がないか見てみましょう。>

② consider residents' family lives <住人の家族の生活を考慮する ※全員が触れているのはこの点だけ。>

第4問

A グラフと英文から情報を正確に読み取る問題

解法

- ① 設問に目を通して、表のどの情報に関するものかを知る。
- ② 内容に関する問題でも表から得られる情報を最大限活用する; グラフのタイトルは英文全体の主題を指していることがほとんど(場合によっては英文を読む必要さえなくなる)。
- ③ 選択肢で全く当てはまらないものなどを消去していく。

問1 「文章によれば、マルチ・コートとソリッド・コートの違いは何か。」 35 ③

※選択肢の間違っている部分(いわゆる消去の根拠)を□で囲んでいる。

- ① マルチ・コートと違って、ソリッド・コートには、より若年の生徒たちがプレイするための人工芝が含まれている。
- ② マルチ・コートと違って、ソリッド・コートには、生徒たちの試合のためにつけられたコートの線が含まれていない。
- ③ ソリッド・サーフェスと違って、マルチ・コートは様々な原料から成る、比較的柔らかい表面をしている。
- ④ ソリッド・サーフェスと違って、マルチ・コートは何にも囲まれていないが、それによって近づきやすい。

問2 「図(グラフ)1において、以下のどれを(A), (B), (C)および(D)が指しているか。」 36 ①

- (A) Grass ⇒ (第3パラグラフ 5行目以降の記述で Grass, Natural および Solid Surface の関係が分かる。) Solid Surface was clearly the area in which All students spent most of their time followed by Multi-court then Grass. <ソリッド・サーフェスは明らかに全ての生徒たちが彼らのほとんどの時間を費やした場所で、それにマルチ・コート、それからグラス(芝)が続いた。>
- (B) Multi-court ⇒ (第3パラグラフ 5行目以降の記述)
- (C) Natural ⇒ (第4パラグラフ 2行目以降で Natural と Playground の違いが分かる) In comparison with Adolescents, Children spent more time in all schoolyard areas except for Natural areas. <*アドレスンツ[青少年]と比較して、*チルドレンは、ナチュラルエリアを除いて、学校の全校庭でより多くの時間を過ごしていた。>
- (D) Playground ⇒ (第4パラグラフ 2行目以降)
- ※和訳では Children と Adolescents をそれぞれカタカナでチルドレン、アドレスンツ[青少年]としている。

問3 「この文章の主な目的は何か。」 37 ④

- ① 子供時代に学校で身体的に活発であることの利点を議論する[一部分⇒×]
- ② 身体的に活発なアドレسنツ[青少年]の数を増やすための助言を与える[助言は含まれていない。勝手にこの文章の後に展開するかもしれない話を推測している⇒×]
- ③ 芝生エリアで生徒たちに遊ぶように促している学校を紹介している[そのような学校を紹介していない。芝生エリア以外の校庭エリアが欠落している⇒×]
- ④ 校庭の種類がそこでの生徒たちの行動に影響を与えることを示す

問4 「最後のパラグラフにはどのようなトピック(話題)が続く可能性が最も高いか。」 38 ②

最終パラグラフの最後の二つの文において、次のパラグラフの導入が行われているので明らか。“To promote students’ health, it is also beneficial to observe how varieties of games Children and Adolescents play affect the length of time spent taking part in physical activity. Let us now take a look at these relationships.”(「生徒たちの健康を向上させるためには、チルドレンとアドレسنツ[青少年]がする様々なゲームが、どのように彼らの身体的活動への参加時間に影響を与えているかを観察することも大切である。それでは、これらの関係を見ていこう。」 はっきりと「関係」と「時間」について触れている②が正解(ゲームの種類と活発である時間の長さの関係)となる。

B ウェブサイトの情報を正確に読み取る問題

解法 前提として、通常の読解問題同様、徹底的に消去の根拠となる部分を探すこと！

- ① 表などの細かい情報に入り込む前に、最初の文章の部分にテーマなどが記述されていることが多いので見逃さないように注意すること。
- ② 案内、広告、メニュー中の「年齢、人数、金額、時間、期限、期間」など、数字に関する情報は細心の注意を払って読む(何に対しての数値なのかを場合によってはマークしながら読む)こと。
- ③ ※や Note(注)などの補足情報や但し書き(今年度の問題の場合は、“Rules and conditions”のところなど)によって条件が変わることがあるので注意。
- ④ (今年度の問題を解くには不要だったが)簡単な加減(足し算、引き算)は普通にあると考えること。したがって、表などに乗っている数字がそのまま解答になることはむしろ少ないと疑ってかかること。

問1 「IAYP ビデオ・クリップ・コンペティションの目的は を提供することである。」 ④

※選択肢の間違っている部分(いわゆる消去の根拠)を で囲んでいる。

- ① a place to meet of (同じ年齢の新しい友人たちに会う場所) ⇒ 上述した解法①に従うと、最初に “This is a great way to share your creations with a wide audience.” (これは幅広い[層の]観衆とあなたが作った作品を共有する素晴らしい方法です。)とこのコンペティションの目的を言っているなので、それに照らしても×
- ② an airplane ticket to Australia to create a video clip (ビデオクリップを制作するための、オーストラリア行きの航空券) ⇒ 解法①により×
- ③ instruction to create a video clip on a computer (コンピュータ上でビデオクリップを作るためのインストラクション) ⇒ 解法①により×
- ④ (若い人たちが彼らの作品を見せるための機会) ⇒ 解法①により○

問2 「高校の野球チームの選手たちが彼らの海外の姉妹校から来た選手たちとの絆(きずな)について4分間のビデオクリップを提出する。どのカテゴリーでそのビデオクリップはエントリーすべきか。」 ②

まず、4分間という時間の情報が得られたので、表の中で書かれている“Maximum length”(最大時間)を利用して選択肢を絞り込む。制限時間(最大時間)は Category A, Category B, Category C, Category D の順にそれぞれ3分、5分、5分、7分となっている。したがって、Category A にはエントリー不可となる。次に残った Category の応募条件テーマを確認する。Category B, Category C, Category D の中で「絆」に関係しているのは Category A(友情に関連したアイデア)のみである。したがって②が正解となる。

問3 「以下のうちのどれがこのコンペティションの(作品)提出要件を満たしているか。」 ④

※選択肢の間違っている部分(いわゆる消去の根拠)を で囲んでいる。

- ① 若い日本人探偵が物語に入った 分間のミステリードラマ。
- ② に見せる 分間のビデオ。
⇒時間の条件をクリアするのは Category D(制限時間7分)のみだが、テーマ(劇的な終わり方をするミステリー)が合わないので×
- ③ 3分間のビデオ・クリップ。
- ④ 2017年10月30日にこのウェブサイトへ送信された3分間のビデオ・クリップ。

第5問

物語の内容を読み取る問題

解法

- ① 設問に目を通して、何が問われているかを先に把握するようにする。
- ② 登場人物、場所、時間の経過等に注意してパラグラフごとに読む。全訳を求められているわけではないので、設問に関わりのある部分を重点的にピックアップして読む感覚でよい。
- ③ 選択肢を消去法で減らしていく。本文の選択肢で述べている内容に該当する本文の箇所があっても、当然のことながら正解とは限らない。×になる根拠を探すように努めること。
- ④ 物語でテーマや表題を問われた場合は物語の「オチ」(特に何かの謎が解けた場合や新しい情報が出てきた場合など)に注目すること。

問1 「ユウジが自分が猫に変身していたことに気がついたとき、最初彼は 。」①

- ① 驚いた ② 困惑した ③ わくわくした ④ 満足した

問2 「ユウジの母親が彼に話しかけたとき、彼は ので、いらついた。」②

※選択肢の間違った部分(いわゆる消去の根拠)を で囲んでいる。

- ① 彼は彼女を
- ② 彼女の言葉が彼を邪魔した
- ③ 彼は
- ④ 彼女が彼の

問3 「猫は『僕はこの男が好きじゃない』と思った、なぜならユウジは。」 ④

- ① 朝食で食べた食べ物の味を思い出せなかった(から)。
- ② 期末試験のためにしていた勉強の努力を隠そうとした(から)。⇒記述なし。
- ③ 彼の将来に対する母親の心配をからかっていた(から)。⇒記述なし。
- ④ 彼の周りにいる人や周りにあるものに対して敬意を見せなかった(から)。⇒スマートフォンだけに集中している記述からわかる。

問4 「物語の最後のところで、ユウジは **45** ので、自分のスマートフォンを手にしなかった。」 **45** ①

- ① 自分の態度を向上させるときだと決心した⇒次の問5を解いてから判断してもよい。「ある体験を通して人間が変化するさま」を描くというのが物語の一つのパターンであることも知っておくとよい。
- ② それ[スマートフォン]がまだ完全には充電されていないことに気がついた
- ③ 前からある、したいことの優先順位に固執(こしつ)したかった
- ④ 母親にしかられることを恐れた

問5 「この物語のテーマは何か？」 **46** ②

- ② 自分自身を観察することで自己変革につながることもある⇒最終パラグラフ(物語のオチにあたる部分)で、ユウジはいつもとは異なる行動を取っている。

第6問

パラグラフごとの内容真偽と要約を選択する問題

各パラグラフの重要部分を中心に和訳しておく。

[第1パラグラフ]

For most people, their friendship are a valuable and important part of who they are. <ほとんどのの人たちにとって、彼らの友情関係は、彼らが何者であるかということの貴重で重要な一部である。> **Psychologists have pointed out that well-established friendships lead us to a better understanding of ourselves.** <心理学者たちは、十分に確立された友情関係というのは、私たち自身をより良く理解することにつながると指摘してきた。> **They have also noted that we might face conflicts not only with acquaintances but even with our good friends, which could result in ends to some of our friendships.** <彼らはまたこうも言っている。私たちは知り合いとばかりでなく、良い友人たちとさえも衝突することがあるかもしれないが、最終的にはなにがしかの友情関係に結果としてなることがある。> **> Fortunately, even when such conflicts occur, it is possible to find ways to maintain or save the friendships.** <幸運なことに、そのような衝突が起こったときでさえ、友情関係を維持したり、失わないでおく方法を見つけることは可能である。>

[第2パラグラフ]

One way to help save a friendship in trouble is to keep in touch. <問題が起こった友情関係を失わないでおくのに役立つ一つの方法は連絡を取り合い続けることである。>
When we think a friend has done something that hurt our feelings, our first response may be to cut off contact. <友人が私たちの気持ちを傷つけるような何かをしたと思うとき、私たちが最初にする反応は連絡を絶つことかもしれない。> **However, it may be better to swallow our pride and avoid doing that.** <しかしながら、自分のプライドを(ぐっと)呑み込んで、それ[連絡を絶つこと]をするのを避けたほうがいいかもしれない。> **For example, Mary watched her friend Susan's children every week until Susan finished night school and graduated.** <たとえば、メアリーは彼女の友人であるスーザンの子供たちを、彼女[スーザン]が夜間学校での勉強を終えて卒業するまで毎週(面倒を)見ていた。> **But after that, Mary did not hear from Susan for several months.** <だがその後は、メアリーは数ヶ月間スーザンから何の連絡も受けなかった。> 中略 **Susan would never have known there was a problem if Mary had not mentioned it.** <もしメアリーがそのことに触れていなかったならば、スーザンは決して問題があったことを知らなかっただろう。> **Not cutting off contact, even when we may be angry, is very important for maintaining good relationships.** <怒っているかもしれないときでさえ、連絡を絶たないことはよい関係を維持する上で非常に重要である。>

[第3パラグラフ]

Another way to help a friendship is to see things from our friend's point of view. <友情関係を助けるもう一つの方法は、私たちの友人の視点からものを見るということだ。>
For example, Mark was very upset at his good friend, Kate, because she had not visited him in the hospital. <たとえば、マークは、よい友人であるケイトが入院していた彼のところを訪れなかったので、彼女に対してとても怒っていた。> **Later, he learned from Kate's friend that she had been afraid of hospitals ever since she had been hospitalized as a little girl for a serious illness.** <後で、彼はケイトの友人から、彼女が小さな子供のころに深刻な病気のために入院して以来、病院を怖がっているということを知った。>
Mark then understood why Kate hadn't come and, instead of being angry, he felt sympathy for her. <マークはそれでケイトがなぜ来なかったかを理解し、怒るかわりに、彼女に同情を感じた。>

[第4パラグラフ]

An important part of dealing with friendships is to recognize and accept that they can change as our needs and lifestyles evolve. <友情関係をうまく扱う中での重要な部分は、それらが私たちの欲求や生活スタイルが変貌するにつれて変わることがあるということ認識し、受け入れるということだ。> **For example, we may have a good friend in high school, but once we graduate, move to a different city for work or study, or get married, we may see that friend less frequently and our feelings may change.** <たとえば、私たちには高校で良い友人がいるかもしれないが、いったん卒業をし、別の町に仕事や学業のために引越したり結婚したりすると、私たちはその友人にはそれほど頻繁には会わな
いかもしれず、私たちの気持ちは変化するかもしれない。> 中略 **We should keep in mind that we may still be friends but not in the same way as before.** <私たちは、それでも私たちが友人であるが、以前と同じようなものではないことを忘れないようにすべきだ。>

[第5パラグラフ]

How do people keep friendships for a long time? <どのようにして人は長期に渡って友情関係を維持するのか。> **In one study, researchers interviewed many people who had been friends for a long time in order to find out the secret.** <ある一つの研究で、研究者たちはその秘密を見つけ出すために、長期間友人であった多くの人たち
に聞き取り調査をした。> **They found that those people kept small misunderstandings from growing into large disputes which might cause their friendships to end.** <彼らは、その人たちが、友情関係を終わらせかねないような大きな論争に、
小さな誤解がなっていくないように、その小さな誤解をとどめておいたことを知った。> **By taking their friends' viewpoints and not being afraid to express their honest feelings, those who were interviewed were able to keep something minor from growing into a major argument.** <友人の視点に立つことで、また自分の正直な気持ちを
を言い表すことを恐れないことによって、聞き取り調査を受けた人たちは、何か小さなことが大きな言い争いになら
ないようにすることが出来ていた。>

[第6パラグラフ]

We all know that friendships are precious, but we also understand that friendships are not always stable. <私たちはみな、友情関係がとても大切なものである
ことをわかっているが、友情関係が常に安定したものではないことも理解している。> 中略 **However, regardless of the states of our friendships, they will continue to be an important part of our lives.** <しかしながら、私たちの友情関係の状態に関係なく、それらは私たち
の人生の重要な部分であり続けるだろう。>

A

問1 「パラグラフ(1)によると、友情関係に関して心理学者たちは何と言っているか？」 ④

④ それら[友情関係]は私たちが自分たち自身について知るのに役立つが問題が起こることもある。

問2 「パラグラフ(2)の、“swallow our pride”に最も意味が近いのは以下のどれか？」 ②

② 自分たちの感情を出すのを控える

問3 「パラグラフ(5)によれば、研究で することが重要だとわかった。」 ④

④ 問題が小さなうちにそれらを解決すること

問4 「パラグラフ(6)によれば、友情関係を維持するさいに難しいのは何か。」 ④

④ 困難な時に距離を離さずにいること。⇒2行目の“The challenge ...”に書かれている。

問5 「この文章につけるとしたら最もよい表題はどれか。」 ①

① 長続きする友情関係のための助言

B

④ 友人たちと連絡を取り合うことと交流をすることの価値

② 私たちの友人の視点から状況をみることの重要性

③ 友情関係が変遷(へんせん)を経(へ)ることを理解することの重要性

① 長期間の友情関係の研究結果に関する報告